



横浜市歴史博物館 企画展

古代の仏教

——博物館収集資料を中心に——

1. 展示会期など

会期	平成27年6月6日(土)～7月5日(日)
開館時間	午前9時～午後5時(発券は4時30分まで)
観覧料	一般 200円、高校生・大学生 150円、小学生・中学生 100円(常設展は別料金)
休館日	月曜日
主催	横浜市歴史博物館
共催	横浜市教育委員会/横浜ユーラシア文化館/ (公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
後援	朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞社横浜総局/東京新聞横浜支局/ 日本経済新聞社横浜支局/毎日新聞横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局/ NHK横浜放送局/ t v k

2. 展示趣旨

紀元前5世紀頃にインドで誕生した仏教は、長い時間をかけて多くの地域に広まり、伝えられた土地と時代の人々の願いに応じて変容をとげてゆきました。6世紀、仏教を受け入れた古代日本でも、朝廷・貴族や各地の有力者、ムラの人々それぞれの信仰が展開してゆきました。また神仏習合という信仰の形もうまれ、千年以上にわたって根付いてきました。

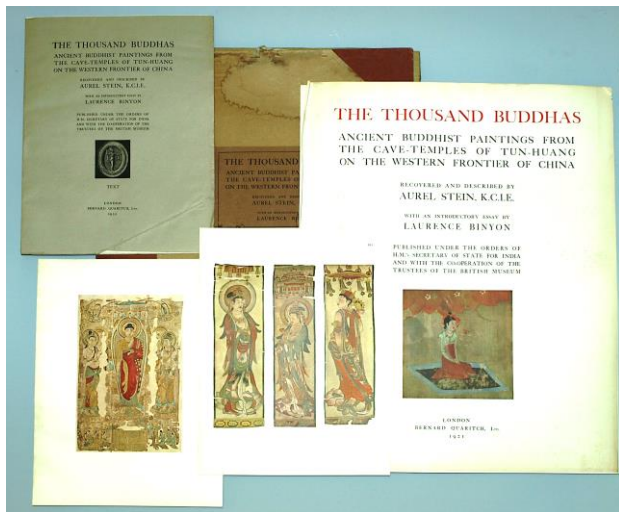
長い年月にわたり人々の生活とともにあった仏教信仰の日本への伝来と土着のようすを、当館が開館以来20年間に収集してきた関係資料を中心に、横浜ユーラシア文化館、(公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センターの所蔵資料から紹介いたします。

3. おもな展示資料 [展示総数約130点]



(1) 紺紙金字法華経八巻 (横浜市指定文化財) 平安時代 法性寺蔵・当館保管

『法華経』は平安時代に極楽往生などを願い盛んに写経されました。これは藍の料紙に銀色の界線、金泥で写経、見返しには華麗な絵を描き、七宝からできているという仏の世界を表現しています。



(2) The Thousand Buddhas : ancient Buddhist paintings from the cave-temples of Tun-huang on the western frontier of China 『千佛：中国西域・敦煌石窟寺院の古代仏教絵画』
1921年刊行 バジル＝グレイ旧蔵書・江上コレクション 横浜ユーラシア文化館蔵

敦煌莫高窟に残されていた仏教絵画を掲載し、浄土への往生や地獄への恐れなど、唐代中国の人々が仏に寄せた願いがうかがえる資料です。



(3) 法隆寺百万塔・相輪陀羅尼 奈良時代 当館蔵

称徳天皇の発願により 100 万個作成され諸大寺に安置された木製三重小塔。中に陀羅尼経巻（日本最古の印刷物）を納め、藤原仲麻呂の乱で乱れた国家の安寧を祈る意味が込められていました。



4. 展示構成

- I 敦煌の仏教絵画
- II 護国の仏教
- III ムラの仏堂
- IV 来世を願う
- V 神仏習合と八幡大菩薩

5. 関連企画

(1) 講演会 「仏法の伝来と土着—除災招福と神仏関係を中心に—」

講師：東京大学大学院教授 蓑輪顕量氏

日時：6月28日（日）14：00～15：30

会場：当館講堂 定員：170人 事前申込制 参加費：500円

(2) 研究講座

第1回 6月13日（土）14：00～15：30

演題：「ムラの仏堂—古代の人々の祈り—」

講師：当館学芸員 柳沼千枝

第2回 6月20日（土）14：00～15：30

演題：「仏教美術に見るユーラシアの広がり」

講師：横浜ユーラシア文化館主任学芸員 福原庸子氏

会場：当館研修室 定員：各回50人（当日先着順） 参加費：各回300円

(3) フロアレクチャー

日時：6月14日（日）、7月4日（土）各日とも11：00～、14：00～

会場：企画展示室、定員：30人 当日先着順、参加費：無料

お問い合わせ先

横浜市歴史博物館 副館長 井上 攻

Tel 045-912-7777

*画像データをご要望の場合はこちらへご連絡ください。 久保（広報） TEL：045-912-7777